

当会は、堺市周辺の身近な場所で野鳥観察をしながら自然環境について考える活動を行っています。このたび上記事業が再評価されることについて、意見を述べさせていただきますと思います。

かつて大阪湾沿岸は、白砂青松の風光明媚な海岸でした。そこは府民のレクリエーションの場であると同時に、シギ・チドリなど旅鳥の中継地でもありました。万葉の昔から歌にも読まれ、歴史に残る名勝も数少なくありません。

ところが近代になって、海は埋め立てが進められ、臨海工業地帯などにその姿を変えました。現在大阪湾岸で野鳥が餌を捕ったり、羽を休めることができる自然海岸はほとんどありません。自然を復元して作られた南港の野鳥園がかりうじて彼らの聖域となっています。このままではやがて大阪からシギ・チドリなど旅鳥の姿は消えてしまうことでしょう。

それはまた、ひとり自然のみではなく、文化の衰退をも招き、府民の心にも影響を与えずにはおきません。

その意味から、泉北6区の緑地整備事業、なかでも野鳥園を作る計画には意義があります。失われた自然を回復し、野鳥をはじめ多様な生き物を呼び戻し、そこを環境教育や市民のレクリエーションの場とする当事業はぜひとも続けていただきたいと考えます。